

キャッスルマン病・TAFRO症候群・IgG4-RD・POEMS症候群

4 疾患合同検討会議のご案内

時下、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、この度下記内容にて、キャッスルマン病・TAFRO症候群・IgG4-RD・POEMS症候群
(4疾患)の合同検討会議を開催させて頂く運びとなりました。
先生方には多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

2018年11月吉日

吉崎和幸

記

■開催日:2018年12月8日(土)10:00-17:40

■会 場:大阪大学産業科学研究所講堂

大阪府茨木市美穂ヶ丘 8-1

■会 長:吉崎和幸 (大阪大学大学院情報科学研究科)

■世話人:青木定夫 (新潟薬科大学薬学部 病態生理学)

主催

lgG4 関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究班
神経免疫班・POEMS 症候群グループ
キャッスルマン病・TAFRO・その類縁疾患調査研究班(略称)

〈お問い合わせ先〉

キャッスルマン病・TAFRO・その類縁疾患調査研究班(略称)

研究代表者 吉崎和幸

TEL:06-6877-5737

《プログラム》

■ 10:00-10:10

開会挨拶・参加者紹介 吉崎和幸

■ 10:10-10:30

Session I

司会: 都立駒込病院膠原病科 瀬戸口京吾

『TAFRO 症候群疾患概念の紹介』

新潟市民病院血液内科 高井和江

■ 10:30-12:30

Session II (病理) (各パート 30 分)

司会 東海大学医学部基盤診療学系病理診断学 中村直哉

① 『多中心性キャッスルマン病と TAFRO 症候群』

金沢医大臨床病理学 黒瀬望

② 『IgG4 関連疾患と多中心性キャッスルマン病』

倉敷中央病院病理診断科 能登原憲司

③ 『POEMS 症候群の病理(骨髄所見を含めて)』

久留米大学医学部病理学 竹内真衣

④ 『病理総合討論』

ディスカッサー: 久留米大学医学部病理学 大島孝一

琉球大学医学部細胞病理学 加留部謙之輔

～休憩～ 12:30-12:45

■ 12:45-13:15

ランチョンセミナー

司会 大阪大学大学院情報科学研究科 吉崎和幸

『多中心性キャッスルマン病と IgG4 関連疾患の皮膚病変』

京都大学大学院医学研究科皮膚科学 鬼頭昭彦

■ 13:15-13:35

Session III

司会 金沢大学附属病院リウマチ・膠原病内科 川野充弘

『TAFRO 症候群の腎病理』

虎ノ門病院 リウマチ膠原病科 乳原善文

■13:35-16:20

SessionIV(症例検討) (発表 10 分・討論 20 分) *境界症例、診断に苦慮した症例

司会 新潟薬科大学病態生理学 青木定夫

- ① 『トシリズマブが有効であった Castleman 病に合併する POEMS 症候群』
東京女子医大血液内科 篠原明仁
- ② 『分類困難な高 γ グロブリン血症をきたした 1 例』
倉敷中央病院病理診断科 能登原憲司
- ③ 『IgG4 が異常高値を示した重症キャッスルマン病』
国際医療福祉大血液内科 中世古知昭

～休憩～ 15:05-15:20

- ④ 『高度な好酸球増多と TAFRO 症候群の特徴を呈した全身性エリテマトーデス』
市立吹田市民病院 血液内科 徳永正浩
- ⑤ 『貧血、多発リンパ節腫脹を認め、病理組織より
IgG4 関連疾患疑いとして紹介となり、血液検査データからは
Castleman 病として経過観察中 5 年目に悪性リンパ腫を呈した 1 例』
都立駒込病院膠原病科 瀬戸口京吾

■16:20-16:50

SessionV(追加発言) (発表 20 分・討論 10 分)

司会 国際医療福祉大血液内科 中世古知昭

- ⑥ Casleman 病合併 POEMS 症候群 13 症例の検討:非合併 100 症例との比較
千葉大学脳神経内科 水地 智基

■16:50-17:30

SessionVI(最終総合討論) 司会 新潟薬科大学病態生理学 青木定夫

- ① 鑑別診断のための問題点
- ② 今後の研究の方向性
- ③ その他

■17:30 閉会挨拶 吉崎和幸